

平成29年度おおさか環境にやさしい建築賞 審査講評

【総 評】

例年同様、本年度も大阪府温暖化の防止等に関する条例ならびに大阪市建築物の環境配慮に関する条例に基づき届け出された建築物について、それぞれが持つ環境への配慮に対する建築的工夫の計画における独自性、実現された建築デザインや様々な取組みを厳正に審査の上、選考した。

環境配慮とは、単にエネルギー管理用の特殊な設備機器を導入するだけではなく、敷地内の外構、建築的工夫によるエネルギー使用の抑制、ならびに建築屋内空間の快適さ・利便性を対象としたそれぞれの建築性能・設備機械による工夫をいう。

残念ながら、ここ数年の喜ばしくない傾向である、候補となる建築物の減少は今年も続き、候補数としては大阪府市の規模からいえば十分とは言えない。しかしながら、候補の環境配慮の取り組みのレベルは年々、高まっている。

本年度は大学の施設に新たな工夫が見られた。これから社会で活躍するであろう学生が、日常空間として環境に配慮した屋内外空間を体験することは、将来への普及展開として大きな期待がもたれる。

また、病院施設で眺望確保を優先した西向きファサードを採用し、建物配置や建築材料、高度な自然換気の誘導の工夫を行い、冷房負荷の増大に対応している点は、審査での望外の喜びであった。

本年度は候補物件に住宅が少なかったが、敷地境界のデザインにより、付近住民からも高評価を得ている事例は今後の同類計画の参考に大きく資すると思われる。

例年の傾向であるが、候補対象の設計・施工者にやや偏りが見られることが、さらなる普及展開の上では多少、気になる点ではあるが、年々、レベルが高くなるのが大阪全体の力になると思われる。今後、環境配慮を通じた優れた建築物がさらに増加することを切に望む。

惜しくも選外となった建築物についても環境配慮への積極的な取組みは評価に値し、その努力に感謝の意を表す。

【大阪府知事賞】

メディカルりんくうポート（泉佐野市）

機能的な自然換気システム、日射熱取得を制御する先進的な調光ガラス、十分な容量の太陽熱温水器、ICTを活用した見える化や照明・空調制御技術の導入など、様々な環境配慮技術を導入した建物であるとともに、環境デザインが極めて秀逸に意匠と融合している。なかでも、西面からの日射負荷を克服し、卓越風を自然換気のために最大限利用するための「ソーラーリボン」は、重要な環境配慮技術であるとともに同建物の意匠の最も重要な要素となっている。病室についても、自然換気のみならず、快適性と省エネルギーをバランスさせる天井放射空調が導入されており、快適な療養空間が構築されている。

以上のとおり、本建築は非常に多くの特徴的な環境配慮技術が採用され、建築と設備が高次元で融合した優れた建築であり、大阪府知事賞に相応しいと判断した。

【大阪市長賞】

大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー（大阪市北区）

高層部の外装材として、北面は断熱を重視し、自然採光と空調負荷低減を実現した超高断熱ガラスを、南面は遮熱を重視し、エネルギー創出と日射抑制による省エネを実現した太陽光発電一体型の日射遮蔽庇や多機能ダブルスキンを採用するとともに、アースチューブピットにより地中熱を利用し、熱交換した空気を空調に利用するなど、様々な省エネへの取組みは独創性、先進性に優れている。

また、取り組んだ環境配慮の手法について建物各所に説明パネルを掲示するなど、学生への啓発を積極的に進める姿勢も窺える。

梅田中心部への良好な緑環境の提供など、周囲の街並みとうまく調和し、優れた環境性能を反映した建築デザインとなっており、大学の都市型キャンパスとして他の規範となる建築物であり、大阪市長賞に相応しいと判断した。

【住宅部門賞】

プレミスト北千里クラッシィ（吹田市）

既存の外構と周囲緑地を活用し、また、最寄駅からの付近住宅地へのアクセス歩道を取り込んだ外構計画が特徴的な集合住宅群である。住人に貸与するミニガーデン、周辺街路に設けた休憩用ベンチとミストを噴霧する遊び場空間などの公共提供も素晴らしく、周辺環境への調和配慮は特筆に値する。災害対応のためのかまどベンチ等の設備、4等級を基本とした住宅性能、HEMSによるデマンドレスポンスへの対応など、最新技術も数多く採用されている。付近自治会から今後の集合住宅の規範となることが期待されている点も高く評価された。

【事務所部門賞】

(50音順)

コイズミ緑橋ビル（大阪市東区）

知的生産性の向上に配慮した照明計画や、照度・人感センサーによるLED照明の点滅・調光制御や空調制御、電動ブラインドの連動など、先進的な取組みを行っており、事務室空間の照明、空調の最適化を図り、執務者個々に応じた快適な空間を実現できるように工夫されている。

隣接する住宅地に配慮した南面のセットバックや緑化、幹線道路沿いである北面の遮音ダブルスキンなど敷地特性を考慮した建築デザインとしても非常に優れている。中規模オフィスの規範として高く評価できる取組みである。

【商業施設
その他部門賞】
(50音順)

中之島フェスティバルタワー・ウエスト（大阪市北区）

窓周りに外気条件と室内負荷に応じた制御を行うアクティブスキン、建物の中心に外気導入を行うエコボイド、中之島という立地を活かした河川水利用による高COPの地域冷暖房の採用など、先進的な取組みがなされている。

敷地周辺への風環境に配慮し、中之島の地域特性を踏まえた周辺のまちなみに調和した統一感のある建築デザインであり、公共歩行空間の確保や周辺の緑化など、建物の公共性に配慮した点も評価され、街の賑わいづくりに貢献している。

EXPOCITY（エクスポシティ）（吹田市）

万博公園を望む広大な丘陵地に作られた大規模商業施設である。土地の高低差を活かしたアクセス道路、駐車場、建物群の基本配置、残土の再利用による廃棄削減、13本の既存樹木を保全し土地のアイコンとするなど入念な外構計画が特徴である。内部も万博の記憶を象徴する空間を施設内に設けるなど地域の歴史性と緑を点景として効果的に配した空中庭園、大型吹抜け上部のハイサイドライトによる自然採光、CO₂制御換気などの省エネ技術も数多く採用し、郊外型大規模モールの環境配慮の模範となる計画といえる。

大阪商業大学ユニバーシティ・コモンズ・リアクト（東大阪市）

南面の庇、東西面の大型縦ルーバー、Low-Eガラス、自然換気の採用などのパッシブな環境制御手法に加えて、床吹き出し空調による個別制御、LED照明、CO₂制御換気など、多くの省エネルギー技術を採用している。加えて、屋上には太陽光発電パネルと緑化を導入するとともに、駅から大学キャンパスへの動線を敷地に取り込んで地域交流施設を設置し、緑の親和空間を生み出すなど、地域づくりに対する積極的な参加意識が見られる点も評価できる。

大阪府立病院機構大阪国際がんセンター（大阪市中央区）

バルコニーによる日射抑制や病室窓部の外気取入れスリットなどの工夫を行っており、病室の水回りを窓側に設けるなど将来的な改装が容易な構造になっている点や鉄骨梁によるロングスパン構造を採用し、コンクリートの使用を最小限に抑えている点も評価できる。

外構では、歩道の拡幅や緑地帯の設置など、地域の潤いとアメニティの向上を図るとともに、建設中に出土した大阪城の刻印石を利用した石庭を整備し地域の歴史性の継承にも配慮しており、大阪城を望む官庁街である大手前の景観と調和した建築物である。

NIFREL（吹田市）

ウェブ・ウォール・ストラクチャーの採用により生み出された特徴的な外壁の菱形開口部やトップライトによる自然採光及び自然換気が、展示内容にうまく生かされている。また、人工海水を濾過循環する小型水槽の採用は、水族館につきものの海水輸送を不要とする省エネ・省資源の一つの回答であろう。特徴ある建物形状は、太陽の塔への眺望の確保に対するこだわりにより生み出されたもので、地域への配慮のあらわれとして評価できる。

プロロジスパーク茨木（茨木市）

先進の物流システムを具現化した大規模な倉庫建築であり、外皮の断熱性を高め、全館LED照明、調光システムを採用するなど、省エネルギー性が高く、屋根面で2MWもの太陽光発電を行うグレードの高い物流施設である。また高台の立地を活かした眺望の優れた休憩スペースや、将来の分割使用に対する配慮など、建築デザインとしても優れており、地域の自生樹木や環境条件に応じた多様な植栽など自然保全への取組みも評価できる。

守口市立さつき学園（守口市）

周囲を戸建て住宅やマンションに囲まれた市街地内に建つ公立学校の模範となる事例である。狭小敷地でありながらセットバックによる緩衝緑地の確保や歩道の拡幅・桜並木の整備・既存樹木を生かしたバタフライガーデンや屋上のおおぞら菜園の設置などの取組みによって、地域への配慮や子供の環境意識の育成に努めている。ワークスペースのある教室計画や太陽光発電の設置、吹抜けからの採光と風の塔の自動開閉換気窓による排気や教室のガラルの自然給気など多様な取組みも見られる。

平成29年度大阪府建築物環境配慮制度に関する検討会 及び
平成29年度大阪市建築物環境配慮推進委員会 委員名簿 (50音順)

○印は、大阪府委員であり、大阪市委員も兼任

- 阿部 昌樹・大阪市立大学大学院法学研究科 教授
- 岩前 篤・近畿大学建築学部 学部長・教授（委員長）
- 田中みさ子・大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科 准教授
- 鍋島美奈子・大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻（環境創生領域）准教授
- 山中 俊夫・大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻（建築工学部門）教授